



太 瑞 知 見

第二十三回

ニックネーム

お釈迦さまの時代に、ニックネームで呼ばれるお坊さんたちがいました。今回は、コンダンニヤという人のニックネームの由来を紹介します。

お釈迦さまがお悟りをひらかれたあと、五人の修行者にその内容をお話しされました。コンダンニヤは聞いていた五人の内の一入です。お悟りの内容は深く、簡単には理解することができません。それでもお釈迦さまは、一つひとつ、丁寧ににお話しになりました。五人は熱心に耳をかたむけました。すると突然、コンダンニヤが悟りの内容を理解したのです。お釈迦さまはたいへん喜ばれました。自分か悟った内容が、はじめて他の人にも



伝わったのです。うれしさのあまり、お釈迦さまは、

「コンダンニヤが悟った！」

と、喜びの声を上げられました。

それからというもの、彼は「悟ったコンダンニヤ」というニックネームで呼ばれることになりました。

悟ってからも、コンダンニヤは熱心に修行にはげみました。ある日、彼は森の中に入り、平たい岩を見つけ、その上で坐禅をしました。

その夜、盗ぞくたちがこの森に入ってきました。町で盗みをはたらいて、森まで逃げてきたのです。真っ暗な森のなかで、盗ぞくたちはちよいどいい大きさの



イラスト：武田 賢龍

切り株を見つけて、そこに盗んだものを  
かけると眠りにつきました。でも、この  
盗ぞくたちが切り株だと思っていたのは、  
なんと、坐禅をしているコンダンニヤだ  
ったのです。朝になって盗ぞくたちが目  
をさますと、ゆうゆうと坐禅をしている  
お坊さんがいるではありませんか！ 盗  
ぞくたちはおどろきました。まったく動  
かずに、しかも自分たちを恐れもしませ  
ん。そんなコンダンニヤに感心した盗ぞ  
くたちは、彼の弟子になりました。

それからというもの、彼は「切り株の  
コンダンニヤ」という、もう一つのニッ  
クネームでも呼ばれるようになりました。